環境指標一覧(2024年12月現在)

		垛児汨憬	見(2024年12月5九年)			
		環 境 指 標		年 度	値	単 位
	①県内における平均気温の変化(5年移動平均)			2019-2023 (平均)	17. 1	$^{\circ}\! \mathbb{C}$
	②県内における最高気温・最低気温の変化 (5年移動平均)		最高気温	2019-2023	36. 1	$^{\circ}$ C
			最低気温	(平均)	-0.9	
		真夏日	横浜		59. 2	日
			海老名		63. 6	
			辻堂	_	52.8	
			小田原	_	58. 6	
			三浦	_	50. 4	
			横浜	_	4. 2	
	③県内における真夏日・猛暑日・	l	海老名		7.8	
	熱帯夜の日数の推移	猛暑日	辻堂	(平均)	1.8	
	(5年移動平均)		小田原	_	7. 0	
			三浦	_	0.6	
			横浜	_	37. 4	
			海老名	_	17. 8	
地球		熱帯夜	<u></u> 辻堂	→	33. 0	
温			小田原	-	15. 0	
暖		Λ / L	三浦		27. 2	
化	④県内の温室効果ガス排出量	全体	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	_	6, 023	万t-CO ₂
			全体	_	5, 649	
		二酸化炭素	エネルギー転換部門	┥	956	
			産業部門	┥	1, 804	
			業務部門	2021	882	
			家庭部門 運輸部門	(速報値)	1, 037	
				⊣	857	
			廃棄物部門	⊣	112	
		その他ガス		_	390	
		吸収量 (森林等)			△ 16	
	全体 エネルギー転換部門 産業部門 業務部門 家庭部門 運輸部門		全体	_	689	РЈ
				_	141	
				2021	224	
				(速報値)	85	
				_	120	
				120		
	⑥県内の年間電力消費量の削減率(2010年度比)		2022	△10.8	%	
	①一般廃棄物(排出量·再生利用率· 最終処分量)		排出量		269. 4	万トン
資源循環			再生利用率	2022	24. 4	%
			最終処分量		21. 5	万トン
	②一般廃棄物(県民一人一日当たりの排出量)		2022	799	g/人・目	
	③産業廃棄物(排出量・再生利用率・ 最終処分量)		排出量		1,740	万トン
			再生利用率	2022	39	%
			最終処分量		27	万トン

	環境指標			年度	値	単 位
自然環境	①地域制緑地・トラスト緑地・都下 の面積		地域制緑地面積	2023	141, 194	
		巾公園	トラスト緑地面積	2023	116. 50	ha
			都市公園面積	2022	5, 362	1
	②里地里山活動協定の認定面積		•	2023	420, 796	m²
		ル、	ニホンジカ		21, 550	千円
	③野生生物(ニホンジカ、ニホンザル イノシシ)による農作物被害額		ニホンザル	2023	3, 237	
	イノングルによる長日初放音領		イノシシ		21,624	
	④アライグマの捕獲効率(※1)			2023	0.44	_
	⑤丹沢山地における林床植生の状況 (植被率が増加した調査地点の割合)(※2)			2023	0	%
	①二酸化窒素環境基準達成率			2023	100	%
	②浮遊粒子状物質環境基準達成率			2023	100	%
	③光化学スモッグ注意報発令日数			2023	2	日
	④ P M2. 5高濃度予報発令日数			2023	0	日
		.) we will take the NAS	河川		97.8	
	⑤公共用水域の類型指定水域にお の達成率	ける環境基準	湖沼	2023	80.0	%
			海域		76. 9	
	⑥相模湖・津久井湖におけるアオ	コの発生状況	相模湖	0000	6, 100	細胞数/ml
	(※3)	3 V V -	津久井湖	2023	6, 100	
	⑦東京湾における赤潮の発生状況(※4)			2023	3	件
	⑧地下水定点調査における環境基準達成状況			2023	98.7	%
	⑨特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に 関する法律に基づく届出排出量と届出外排出量(推計値)を 合わせた全体の化学物質排出量			2022	12, 164	トン
	⑩騒音・振動・悪臭に関する苦情件数		騒音		1, 598	件
			振動	2022	452	
			悪臭		744	
生活	⑪道路交通騒音に関する環境基準	⑪道路交通騒音に関する環境基準達成状況			90.4	%
環境		真夏日	横浜		59.2	日
夗	⑩県内における真夏日・猛暑日・ 熱帯夜の日数の推移 (5年移動平均)		海老名		63.6	
			辻堂		52.8	
			小田原		58.6	
			三浦		50.4	
		猛暑日	横浜		4.2	
			海老名	2010 2022	7.8	
			辻堂	2019-2023 (平均)	1.8	
			小田原	(11.3)	7.0	
			三浦		0.6	
		熱帯夜	横浜		37.4	
			海老名		17.8	
			辻堂		33.0	
			小田原		15.0	
			三浦		27. 2	
	③都市公園の箇所数と総面積		箇所数	2022	7, 762	箇所
	1997年11日本国の1997年11日日 1997年11日日日	面積		5, 362	ha	
	④漁業協同組合が作成する資源管		2023	29	計画	

	環境指標	年 度	値	単 位	
人材・連携・技術	①IS014001及びエコアクション21などの環境マネジメントシステム 認証取得事業所数			1, 337	事業所
	②「環境基本計画」、「地球温暖化対策地方 公共団体実行計画」の策定市町村数	環境基本計画	2023	28	市町村
		地球温暖化対策地方公共団体 実行計画」(事務事業編)		32	
		地球温暖化対策地方公共団体 実行計画」(区域施策編)		25	
	③地球温暖化防止活動推進員が実施する環境学習や、市町村を通じて 把握できる、こどもエコクラブ等の環境学習への参加者数			132, 048	人
	④家庭のエネルギー消費量・水道水使用量	エネルギー消費量	2021 (速報値)	28. 1	GJ/世帯
		水道水使用量	2022	182	m³/世帯
	⑤産学公技術連携データベースにおける環境関連技術で連携可能とした 企業の登録件数		2023	116	件
	⑥スギ・ヒノキ花粉の飛散量の変化(※5)			16. 0	個/m³

- ※1 延べわな設置数(わな設置数×設置晩数)100当たりの捕獲数です。※2 複数の調査地点において、現況と5年前の植被率(植物で覆われている地表の割合)を比較し、10%以上の増加が認められる調査地点数の割合を表したものです。
- ※3 アオコの発生状況は細胞数の最高値です。
- ※4 件数は神奈川県域における調査船による監視及び通報に基づくものであり、発生した全ての赤潮を把握したもので はありません。
- ※5 1時間値の月間平均濃度です。
 - 注1)以下の指標については、年間(1月~12月)のデータとなっています。
 - <地球温暖化>
 - ①県内における平均気温の変化(5年移動平均)
 - ②県内における最高気温・最低気温の変化(5年移動平均)
 - ③県内における真夏日・猛暑日・熱帯夜の日数の推移(5年移動平均)
 - <自然環境>
 - ④アライグマの捕獲効率
 - <生活環境>
 - ⑫県内における真夏日・猛暑日・熱帯夜の日数の推移(5年移動平均)
 - 注2)以下の指標については、2月~5月の期間における平均のデータとなっています。
 - <人材・連携・技術>
 - ⑥スギ・ヒノキ花粉の飛散量の変化